

# かんじやと医療

第  
52  
号  
(毎月1日発行)

発行所  
全国患者団体連絡協議会  
東京都清瀬市松山2丁目13の12  
〒180-04電話(0424)93-5871番  
郵便振替東京2-4152  
購読料 1部110円 6カ月分660円



全患連、全難連(20団体)の第3回共同予算要求行動(79.12.25)による野呂厚生大臣への申し入れです。手前うしろ向きが野呂厚生大臣

## おもな記事

お正月には、たくさん  
の団体や個人の皆さん  
からお年賀状をいただき  
ありがとうございます  
ました。

- 写真 野呂厚生大臣交渉 1
- 全患連・全難連予算行動 2
- 結核・難病公費改悪防止 4
- 障害者の権利宣言 4
- 難病公費医療の改悪警告 5
- 理のない所得制限 6
- 全国患者家族集会開催で 7
- 肝炎の会を鹿児島に 8

# 竹下大蔵大臣要請

## 全患連、全難連代表二名で

十二月二十四日、全患連、全難連代表(全患連山本、全難連佐藤他二十八名)は、竹下大蔵大臣に面会し、要請書を手渡すと共に健保、結核や難病などの公費医療改善に反対であることと、年金、ハンセン氏病対策、

十二月二十四日、人工肝門対策、難病対策の改善と予算化を強く申し入れました。真は大蔵室、山本、佐藤の二名代表だけ許可された。



# 曾根田次官に申入れ

## 全患連、全難連、保健婦団体代表

十二月二十四日、大蔵省が予算内示した翌々日の朝、全患連、全難連代表(四十名)に保健婦団体代表も加って、厚生省曾根田事務次官に面会を求め、つぎのような申し入れを行いました。

①健保とが長全患連代表幹事

公費医療改善反対、②救急医療改善、③差額徴収解消、④人工肛門器具の保険負担化、⑤年金改善など二十項目、なお各団体も各々要請書を提出しました。写真、中央横むきが曾根田事務次官、右側中央で要請するの

# 年金改正を申入れ

## 障害年金改正をすすめる会

障害年金改正をすすめる会代表(吉本会長、黒岩、山本、榎本、小林)は、十二月二十一日、年金局長、年金企画課長、年金課長ならびに大蔵省の大蔵大臣、主計局長、主計局次長、年金担当主査にも説明しながら、十五項目(既報)にわたる五十五年度予算化と改正を要請しました。



# 野呂厚生大臣交渉

## 全患連、全難連の両代表

十二月二十五日、全患連、全難連代表は厚生大臣室を訪問、野呂厚生大臣に申し入れを行いました。

④差額徴収廃止、⑤ハンセン氏病医療改善、⑥人工肛門等の器具代保険負担、⑦薬害救済早期実施、⑧年金改善など二十項目

両代表は、要請書を手渡ししながら、①健保、公費医療改悪反対、②難病対策強化、③救急医療改善、保健婦予算削減反対、を申し入れました。

大臣は「今日の要請一つの山選択せまられている。福祉前進するのみだ」と回答しました。



# 健保、公費改悪反対

## 全患連 大会決議を大蔵に申し入れ

十二月十日、全患連代表山本事務局長、前田幹事、石綿幹事、岡田互療会副会長は、大蔵省主計局・斉藤主査をたずね五十五年度予算編成にあたって全患連第五回大会の特別決議をもって申し入れました。

申入れは、①健保改悪反対、予防とリハビリを保険で、②結核、老人等公費改悪反対です。斉藤主査は「薬つけ医療を正すために患者負担をつけて健保改正したい。結核公費改正は実害は出さない」と答えました。

# 年金改正で大蔵に

## 障害年金改正をすすめる会

十二月二十一日、障害年金改正をすすめる会(吉本会長、黒岩副会長、山本事務局長、榎本幹事)は、大蔵省主計局杉井主査をたずね、五十五年度予算案に障害年金等の改正を盛り込むよう申し入れました。

⑤事後重症延長、⑥国年二級新設など十五項目です。

申し入れ内容は、①福祉年金

三万円以上に、②二十歳前障害者に年金を、③福祉年金の所得制限扶養分の撤廃、④サラリーマンの妻等の障害者に年金を、





# 結核、難病公費改悪に歯止

## 全患連 五十五年度予算編成で連日行動

老人医療有料化、結核公費医療費全額削減、難病公費医療に所得制限をつけるなど、政府の五十五年度予算編成案に対し、全患連は全難連と共同し反対運動を展開しました。その結果、結核、難病の公費改悪を中止させました。しかし政府は五十六年度にも実施したいとしているし、健保、年金改悪をもち込んだ五十五年度政府予算案になっています。

### 五十五年度厚生省予算案

#### 健康保険の改悪

医療給付は本人10割・家族7割  
給付を両方共8.3割にする。

初診負担六百元を千円に、  
入院負担一日二百円を千円に

増額し、薬代50%患者負担に  
高額療養費患者負担額、月三万  
九千円を二万円、低所得は一  
万円にする

保険料の増額は、千分の八十を  
寛与を加え十分の七十に

#### 年金の改悪

老齢年金の支給開始年齢の引上  
げをする。保険料大幅増額

障害年金 厚生年金の最低保障  
額三万九千八百三十三円を四万一、  
単価六七、五八四円で、公費

## 公費改悪の大蔵省案

大蔵省は、十二月一日、各省  
庁に対し来年度予算編成方針と  
して、次のような「総ナテ斬り」  
を伝える回答を求めました。

厚生省には、①生活保護基準

- ②児童手当の存続
- ③結核医療の保険切り替え
- ④一部負担の導入
- ⑤福祉施設に特別会計導入
- ⑥福祉施設に特別会計導入
- ⑦年金の財政再計算(改正)の再検討
- ⑧福祉年金に拠出制度の創設
- ⑨老人医療費の全医療保険による七〇%財政調整、受益者
- ⑩一部負担の導入
- ⑪原簿手当
- ⑫福祉施設に特別会計導入
- ⑬お知らせ任務
- ⑭健康保険、
- ⑮その他など。

## 障害者の権利宣言

一九七五年(十二月)の国連  
総会は、国際連合憲章のもとに  
おいて、一層高い生活水準、完  
全雇用及び経済的、社会的進歩  
及び発展の条件を促進するため  
この機構と協力して共同及び個  
別の行動をとるとの加盟国が誓  
約に留意し、この憲章で宣言さ  
れた人権と基本的自由並びに平  
和、人間の尊重と価値及び社会  
的正義の諸原則に対する信念を  
再確認し、世界人権宣言の諸原  
則、国際人権規約、児童権利宣  
言、精神薄弱者の権利宣言並び  
に国際労働機構、国連教育科学  
文化機構、世界保健機構、国連  
児童基金及びその他の関係機関  
の憲章、条約、勧告及び決議に  
おいて、すでに設定された社会  
の進歩を目的とした基準を想定  
し、障害の予防及び障害者のリ  
ハビリテーションについての一  
九七五年五月六日の経済社会理  
事会の決議第一九二(LV)を  
も、また想起し、社会の進歩  
と発展に関する宣言が心身障害  
者の権利を保護し、かつそれら  
の福祉及びリハビリテーション  
を確保する要求性を宣言したこ  
とを強調し、心身の障害を防止  
し、障害者ができる限り多様な

活動分野において、その能力を  
發揮し得るよう援助し、かつ可  
能な限り通常の生活にこれら  
を受入れることを促進する必要  
に留意し、若干の国においては  
その現在の発展段階において  
は、この目的のために限られた  
努力しか払え得ないことを認識  
し、この障害者の権利を宣言し  
かつ、これらの権利の保護のた  
め、

人ではその全部又は一部を満た  
すことのできない人を意味す  
る。

二、障害者はこの宣言で唱え  
られたすべての権利を享受する  
ものとする。これらの権利は、  
いかなる例外もなしに、さらに  
人種、皮膚の色、性格、言語、  
宗教、政治的あるいは社会的な身  
分の貧富、出生、又は、障害者  
自身や家族が持つその他のいか  
なる状況による区別も差別もな  
しにすべての障害者に与えられ  
る。

# 国際障害者年

### 1975年12月国連総会決議



一、「障害者」という言葉は  
先天的か否かに拘らず、身体的  
能力又は精神的能力の不足のた  
めに、通常の個人生活又は社会  
生活に必要なことを、一  
人ではその全部又は一部を満た  
すことのできない人を意味す  
る。

二、障害者はこの宣言で唱え  
られたすべての権利を享受する  
ものとする。これらの権利は、  
いかなる例外もなしに、さらに  
人種、皮膚の色、性格、言語、  
宗教、政治的あるいは社会的な身  
分の貧富、出生、又は、障害者  
自身や家族が持つその他のいか  
なる状況による区別も差別もな  
しにすべての障害者に与えられ  
る。

三、障害者は、その人間とし  
ての尊重される権利を生れなが  
らに有する。障害者は、その障  
害の原因、性質、程度のいかん  
を問わず、同年齢の市民と同一  
の基本的権利を有する。このこ  
とは、先ず第一に、できるかぎ  
り通常かつ十分に相応な生活を  
享受することを意味する。

四、障害者は、他の人々と同  
一の市民としての権利及び政治  
的諸権利を有する。精神薄弱者  
の権利宣言第七条は、精神障害  
者の諸権利上あり得るいかなる  
制限又は抑制にも適用される。

# 難病公費医療の改悪勧告

## 行管庁 公費医療の見直し調査もとに

一月十九日、行政管理局は、率化、老人医療無料化に伴う受療、特定疾患(難病)治療研究「公費負担医療に関する行政監察行動の実態と影響等をはあく診行動の実態と影響等をはあく察の結果」による報告をまとめした。なお、厚生省は、公費負担医療の守備範囲の明確化、福祉の公費医療は医療保険や各施設との調整を強力に推進すべきであるとしている。

この報告と勧告は、一、公費負担事業の体系的見直し(①結果、特定疾患(難病)治療研究奨励的や福祉的公費負担事業に近いものになっている)とし、

二、事務運営の適正化及び効率化(①適用審査事務、②所得審査事務、③公費の審査支払及び過誤調整)、三、老人医療費無料化の実態(提言)(①老人医療費の増加傾向、②受診増加傾向及びその医療内容、③国保における老人医療費等)……となつてい

た。この報告と勧告の「前書き」では、公費負担医療の全体見直しの声も聞かれており、制度全般の再検討、運営の適正化と効

率化、老人医療無料化に伴う受療、特定疾患(難病)治療研究奨励的や福祉的公費負担事業に近いものになっている)とし、

二、事務運営の適正化及び効率化(①適用審査事務、②所得審査事務、③公費の審査支払及び過誤調整)、三、老人医療費無料化の実態(提言)(①老人医療費の増加傾向、②受診増加傾向及びその医療内容、③国保における老人医療費等)……となつてい

た。この報告と勧告の「前書き」では、公費負担医療の全体見直しの声も聞かれており、制度全般の再検討、運営の適正化と効

率化、老人医療無料化に伴う受療、特定疾患(難病)治療研究奨励的や福祉的公費負担事業に近いものになっている)とし、

二、事務運営の適正化及び効率化(①適用審査事務、②所得審査事務、③公費の審査支払及び過誤調整)、三、老人医療費無料化の実態(提言)(①老人医療費の増加傾向、②受診増加傾向及びその医療内容、③国保における老人医療費等)……となつてい

た。この報告と勧告の「前書き」では、公費負担医療の全体見直しの声も聞かれており、制度全般の再検討、運営の適正化と効

### 難病患者に所得制限

「行管庁の勧告の中には、公費負担医療制度における「所得による受給制限又は患者から費用を徴収していないもの」「見直

し」を求めています。その勧告「所得制限の実施及びその基準の整理」を要約する

と、結核適正医療、精神通院医

### 特定疾患事業受給世帯の所得税額と自己負担額試算表(昭和52年)

事例	入院区分	公費負担額 A	課税標準額	推定所得税額	更生医療の支払命令額		Aに対応する更生医療の場合の自己負担額	備考
					階層区分	徴収基準額		
1	入院	円 39,000	円 280,000	円 27,900	D 5	円 6,500	円 6,500	
2	通院	195	2,023,998	251,600	D 1 1	22,800	97	通院 $\frac{1}{2}$ 額
3	"	2,541	1,100,000	120,000	D 8	17,700	1,270	"
4	"	6,999	20,191,904	7,269,500	D 1 4	全額	6,999	
5	"	10,077	1,108,600	120,600	D 9	14,400	5,038	通院 $\frac{1}{2}$ 額
6	"	3,774	1,026,000	111,000	D 8	11,700	1,887	"
7	"	1,986	1,250,000	139,000	D 9	14,400	993	"
8	"	3,639	1,894,000	230,400	D 1 1	22,800	1,819	"
9	"	2,688	4,068,580	646,300	D 1 3	33,200	1,344	"
10	入院	39,000	1,215,000	134,100	D 9	14,400	14,400	
11	通院	13,320	763,200	79,200	D 7	9,800	4,900	通院 $\frac{1}{2}$ 額
12	"	2,529	1,254,100	139,000	D 9	14,400	1,264	"

# 年金税徴収ねらう

# 年金改正のための

### 厚生省 保険料と別に二一〇円づい

### 国会請願署名募金集めに

### ご協力のおねがい

厚生省年金局は、五十年年金及び福祉年金の増額財源として約五〇〇億円の念出をせまらるれ、「年金加入者持寄り案」なるものを提案しました。

この案には、国民各層から反対の声が高まり、五十五年に制度改正、新設することが出来ませんでした。

福祉年金はそもそも、無拠出料と別に徴収するというもので、

厚生省年金局は、五十年年金及び福祉年金の増額財源として約五〇〇億円の念出をせまらるれ、「年金加入者持寄り案」なるものを提案しました。

この案には、国民各層から反対の声が高まり、五十五年に制度改正、新設することが出来ませんでした。

福祉年金はそもそも、無拠出料と別に徴収するというもので、



本流

いま、障害年金改正をすすめる会は、現在開催中の第九十一回国会にむけて、年金改正を求め、国会請願運動(署名と募金を全国ですすめています)。

この請願は、障害者や患者家族たちの切実な要求がこめられています。

その中でも、特に注目される期待の強いものに「福祉年金の扶養者所得制限による受給停止処分の改正があります。期待の強い理由には、障害者や長期病患者をかかえた世帯では、人一倍働いて収入を上げます。そうすると所得制限(扶養六人世帯で年間八百万七十六万円以上)によって、福祉年金の支給が停止されるからです。

この支給停止処分は、①障害者や患者と認めない処分であると共に、②そもそも年金制度は個人個人を対象にした体系をなしているにもかかわらず、所得制限だけは世帯全

## 理のない所得制限

この支給停止処分は、①障害者や患者と認めない処分であると共に、②そもそも年金制度は個人個人を対象にした体系をなしているにもかかわらず、所得制限だけは世帯全

その中でも、特に注目される期待の強いものに「福祉年金の扶養者所得制限による受給停止処分の改正があります。期待の強い理由には、障害者や長期病患者をかかえた世帯では、人一倍働いて収入を上げます。そうすると所得制限(扶養六人世帯で年間八百万七十六万円以上)によって、福祉年金の支給が停止されるからです。

## 医療ニュース

11月・12月

- 十一月
  - ▲三十日 厚生省 健保改正案の提出を自民に強く要請、再提出にもち込んだ。
  - ▲二十日 三和銀行 医療産業の問題点まとめを発表、八〇年代は競争激化といっている。
  - ▲二十二日 野呂厚生大臣の七割が国保と発表
  - ▲三十日 自治病協 へき地への医師紹介事業の発足をした。
  - 十二月
    - ▲四日 衆院社労委 医療保険制度に関する小委員会(十九名)を設置、委員長、薬製信行をきめた。
    - ▲九日 保険審(般保部会)が年金改正で意見書提出。
    - ▲十日 財政審(第二部会) 老人医療有料化、結核予防法の保険優先、児童手当見直しを報告、財政審が了承。
    - ▲十一日 第九十回臨時国会 健保改正案を継続審議にした。
    - ▲十一日 臨時国会 共済五法案を自、社、公、民で共同修正案と原案を可決。
    - ▲十三日 総評弁護団と自由法曹団 労災保険改正で基本懇に意見書を提出。
    - ▲十三日 労働者 労災保険審に労災保険改正で諮問。
    - ▲十三日 国病 国療懇定員削減で反対意見を厚生大臣に提出。
    - ▲二十七日 町村会 国保 実施状況をまとめ発表した。

# 全国患者家族集會開催で

## アピール 兵庫・大阪・京都難病連

第九回地域難病連全国交流会が、二月十日、神戸市須磨の兵庫インターナショナルセンターにおいて開かれます。  
この交流会では、「難病と東洋医学について」の講演が行われると共に、討論テーマとして「七〇年代における難病運動の

## アピール(要旨)

最近の地域難病連、難病患者とその家族をめぐる情勢は、格段とさびしさを増している。  
政府は、低成長下「未曾有のエネルギー危機」といわれる「国家財政の再建、合理化」を国民と患者、医療と福祉の大きなセイの上のりきる構えである。  
油危機後の低成長への始まり

総括と八〇年代にむけての展望」が討議されまとめられる予定です。すでに、十二月十六日に兵庫、大阪、京都各難病連は、地域難病連第九回全国交流会の成功と第一回全国患者・家族集會開催のアピールを発表しました。

「福祉後退」が開始された直後、一九七六年夏の京都での交流のあと、全難病者へのアピールを

発表し、それが、一九七八年のあひ医療運動史上画期的な「全国患者、家族集會」の成功のきっかけとなった。  
我々は、かつて「全国患者、家族集會」成功への一大要因となつたアピール提案者としての誇りをもっている。

財政再建とエネルギー危機の中、医療と福祉の切捨て、公費削減すべき機は熟している。

## 誌代送金のお願い

本誌ご購入の皆さんにお願いがあります。実はこちらの協力をより購読者は相当ふえそまいました。事務局長が手薄のため、購読料の請求が出来ないでいます。申訳な

## 新七カ年計画修正

八月に政府承認の「新経済七カ年計画」を、半年間の原油価格や卸売物急騰などの経済変化で計画を見直し一部修正しました。

修正は、①成長率を五・七%をねらいとしています。

## 医療ニュース

12月

- 十二月
  - ▲十四日 厚相 健保改正を成立させ、老人医療などに取組みたいと記者発表。
  - ▲十四日 福祉三団体(全国保育、障全協、社会福祉労働組) 厚生省に五十五年度予算要求を提出。
  - ▲十八日 労災審 労災保をすすめる会(五十四団体) 障青年年金改正などで大蔵省に申し入れた。
  - ▲二十一日 厚生省 五十三年度の社会医療調査をまとめ一件当り診療費二七%と発表。
  - ▲二十一日 九十二通常国会 共済年金五法(支給開始年齢の引上げ等)を可決。
  - ▲二十一日 障青年年金改正をすすめる会(五十四団体) 障青年年金改正などで大蔵省に申し入れた。
  - ▲二十二日 大蔵省 五十五年度予算府案を内示。
  - ▲二十三日 日患同盟と全患連は、結核など公費医療改悪反対で大蔵省に抗議、厚生省に要請。
  - ▲二十三日 結核予防会など結核関係五者共闘会議 結核予防法改悪の反対決議を政府に申し入れた。
  - ▲二十四日 全患連、全難病連第三回予算要求統一行動を実施し、大蔵、厚生、労働省に申し入れた。
  - ▲二十四日 公衆衛生審結核医療改悪反対の意見書を厚生大臣に提出。
  - ▲二十四日 全患連、全難病連共同で竹下大蔵大臣に面会予算要求を申し入れた。
- 除く建議した。
  - ▲十八日 厚生省 医薬品副作用救済基金政令案を閣議で了承を得た。
  - ▲十八日 総評 厚生年金の六十五歳引上げ反対声明。
  - ▲十八日 全国公私病連、医療費十五・九%引上げを大会で決議。





# 肝炎の会を鹿児島につくりたい

鹿児島市 高崎 典雄

略啓 甚だ突然恐縮に存じま

す。一九七八年五月、貴障害年金改正をすすめる会発行の「障害年金の改正運動報告書」を入手

しましたが、そのこの出版物、資料等ございましたら、ご一報

いたなければ幸いです。折返し注文致したいと思っております。

予定です。

此処、私の方も「全国肝炎の会」鹿児島支部結成、近日中に

準備し、設立総会を計画致して

同い致すつもりです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

草々

一月発行予定が二月に変更しす

すめて居ります。今後は、患者たちのために、支部を通じ「厚生省」、「全患

連」、「全難連」、「肝炎の会」本部」との接渉のために、其の

正をすすめる会、各団体代表者会議で決議された「決議案」を一冊送ります。

その後の資料という事ですが

昨年九月に開かれた障害年金改正をすすめる会、各団体代表者

会議で決議された「決議案」を一冊送ります。

草々

高崎典雄さんを中心にした役員

の皆さんの組織づくりの熱意に感謝すると共に、皆さん方のお

身体を大切にされるよう心から念じています。

上京をお待ちしています。

なお、高崎さんから「私の闘病記」、地元新聞掲載が同封し

てあります。

闘病記には、肝硬変の宣言にシ

ョック、退院後無理し再発、医師信頼が回復に一役など。

## 全国患者団体連絡協議会加盟組織

### (互療会)

〒105 港区西新橋3-15-10原色版印刷内  
☎03 (433) 1641

### (全国交通労働災害対策協議会)

〒171 豊島区西池袋1-4-5  
☎03 (982) 7361

### (全国腎臓病患者連絡協議会)

〒161 新宿区下落合3-15-29 田沼ビル(第二)  
☎03 (952) 5340

### (全国心臓病の子供を守る会)

〒101 千代田区神田北乗物町17 北乗ビル  
☎03 (256) 8424

### (全国ハンセン氏病患者協議会)

〒189 東村山市青葉町4-1-10  
☎0423 (94) 1571

### (全国職業性有害物障害患者協議会)

〒171 豊島区西池袋3-17-18 清宮荘8号  
☎03 (986) 5938

### (日本患者同盟)

〒180-04 清瀬市松山2-13-12  
☎0424 (91) 0058

### (慢性一酸化炭素中毒患者会)

〒151 渋谷区千駄ヶ谷1-31-5代々木病院内  
☎0493 (24) 1293 後藤亮

# 患者運動

長 宏 著 勁草書房刊

定価1,200円 千160円

世界でもめずらしい、といわれる「患者運動」が、なぜ日本だけに発生したのか。人権意識をもって立ち上った患者運動の現状と課題を明らかにしています。必読の書。

お申込み 現金(切手も可)でお申込み下さい。

全国患者団体連絡協議会 東京都清瀬市松山2-13-12

## 「かんじやと医療」

### 「購読のおねがい」

本誌は、全国患者団体 さらにお願ひします。連絡協議会(略称・全患 申込先 〒110-0104 連)の機関誌です。 東京都清瀬市松山 読者の皆さんから、患 二一三一二本 者や家族、一般の方々に 誌編集委員会まで せし購読をおすすめくだ 購読料六ヶ月六〇円